

第1回気候変動を踏まえた庄内川下流部の対策検討会を開催 概要 1/2

開催日: 令和2年5月18日(月) ※書面開催

【検討会の設立趣旨 概要】

- 庄内川では平成20年3月に策定した庄内川水系河川整備計画(以下河川整備計画)に基づき、愛知県区間では平成12月9日東海豪雨と同規模の洪水を目標に、治水対策を鋭意推進しているところである。
- 近年は気候変動に伴う水災害の頻発化・激甚化が懸念されており、計画規模を大きく上回る降雨により各地で甚大な被害が発生している。
- このようなことから、気候変動を踏まえた河川整備計画の目標となっている洪水の外力について対策を検討する必要が生じた。
- 庄内川の治水安全度を向上させるため、計画規模以上の外力に対しても、どのような治水対策が庄内川下流域において考えられるか検討するものである。

【委員名簿】

愛知工業大学工学部 赤堀 良介	准教授
中部大学工学部 武田 誠	教授
名古屋大学 ◎辻本 哲郎	名誉教授
名古屋工業大学工学部 冨永 晃宏	教授
名城大学理工学部 原田 守博	教授
中部大学 松尾 直規	名誉教授
◎座長 (敬称略、五十音順)	

【検討会の位置づけ】

R1.10
「気候変動を踏まえた
治水計画のあり方」提言

R2.5～
気候変動を踏まえた
庄内川下流部の対策検討会

河川管理者が最適な対策案
を含めた河川整備計画の
変更案を作成

流域委員会、
関係自治体等の
意見を聴く

河川整備計画の変更

【検討会の予定】

R2.5
第1回検討会(今回)
・検討会の位置づけ・進め方について
・庄内川の概要
・庄内川の課題

R2.7頃 第2回検討会
・庄内川で想定される被害
・考えられる対策について

R2.9頃 第3回検討会
・考えられる複数の対策案を整理

※予定については、検討会の議論内容等により変わる可能性がある。

令和元年9月台風第19号による
阿武隈川被災状況(東北地方整備局)



平成12年9月洪水(東海豪雨)
新川破堤地点の状況



【委員からの主なご意見】

- 河川整備基本方針・河川整備計画の変更に向けた具体のストーリーを整理し、実現性を念頭に、検討を進めていくべきである。
- 気候変動に伴う外力の設定について、計画降雨量を単に1.1倍に引き伸ばすだけでなく、河川整備基本方針同様、洪水波形群としての検討や降雨継続時間等も考慮していくべきである。
- 計画降雨量1.1倍の気象条件を庄内川流域に当てはめたとき、庄内川でどういった現象が発生し、課題は何かを明確にすべきである。
- 気候変動を踏まえた水害の激甚化、頻発化に対応するには、治水対策のみではなく、50年後、100年後を見据えたまちづくりと連携する必要がある。